

(別紙1)

第39回 教育研究全国大会(栃木大会)実施要項

【主催】全日本教職員連盟

【主管】栃木県学校管理職員協議会

栃木県教職員協議会

【共催】日本教育文化研究所

1 大会理念

美しい日本人の心を育てる

2 大会主題

新しい価値を創造する力を育む教育実践

～ 自らの考えを広げ深める子供の育成を通して ～

3 研究の基調

現在私たちの生活する社会においては、AI やロボティクス等が飛躍的に発展しています。そして、来る Society5.0 社会においては、更に高度化した AI 技術が、これまで人間が担っていた定型的業務等を奪っていくと想定されています。

このような未来を生きる子供たちには、変化に適応するだけに留まらず、自立して主体的に社会に関わり、人間だからこそその感性や創造性を発揮し、新しい価値を創造していく力が必要です。こうした力を育む基盤として、子供たちが、幼少期から身近な人と親しみ関わりを深めたり、継承されてきた我が国や地域の伝統・文化を体験したりする中で自己肯定感を高め、これからの未来社会における我が国の在り方や自分自身の役割について、高い志をもたなければなりません。そして、思考力・判断力・表現力等を駆使して社会と関わることでこれまで培ってきた知識や技能を更に確かなものにするとともに、多様な人々と協働しながら様々な課題にチャレンジし、可能性を最大化していくことが必要です。これらの取組は、自己・人・自然・社会・国を愛する心を育てること、即ち本大会の理念である「美しい日本人の心を育てる」ことにつながると考えます。

そこで、初等中等教育段階では、子供たちに日本人としてのアイデンティティを育むと同時に、自身のアイデンティティに目を向けることができるようにすることが大切です。そのためには、我が国や郷土の伝統・文化を理解し、自己形成に関わった地域社会に誇りをもって、それらを発信、継承する能力が必要です。併せて、子供たちが課題に積極的に向き合い、様々な情報を取捨選択し、それらを再構成して新たな価値につなげていくためには、これまでの教育実践の蓄積に基づいた上で、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が必要です。また、人々との対話、協働のためには、「特別の教科 道徳」を要としながら、多様な価値観の存在に気付き、内省しながら物事の本質を考える力や何事にも誠実に向き合う意志、豊かな情操等を養うことが重要です。一方、子供たちを取り巻く環境が複雑化・困難化する中で、子供たちに食・健康等に関する学習を通して、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力を養うことが重要です。また、誰もがその個性や能力を生かして社会参画できる共生社会を実現するために、全ての子供たちの力を引き出すとともに、一人も置き去りにしない教育の推進と特別支援教育の充実が不可欠です。これらの教育実践を持続可能なものとしていくためには、学校指導・運営体制の更なる充実を図ることが必要です。学校マネジメントには、学校における働き方改革を達成するとともに、学校教育を通じて社会を創るという目標を学校と社会が共有することや、チーム学校が有効に機能するために校内体制を整備す

ること等、学校と社会とが連携・協働する体制を更に充実させることが求められています。これまで述べた教育に直接携わる私たち教職員は、教育専門職としての使命と誇り、子供たちへの限りない愛情を胸に、自らの職責を深く認識し、専門性を高めるとともに人間性を磨くために、常に研鑽に励む姿勢を示さなければなりません。

本研究大会では、「美しい日本人の心を育てる」という全日本教職員連盟の基本理念の下に、大会主題を「新しい価値を創造する力を育む教育実践」とし、本主題に迫るための手立てとして、「自らの考えを広げ深める子供の育成を通して」という副主題を設定しました。各分科会での実践発表と研究協議、助言者による指導等を通して、参加者一人一人がそれぞれの立場で研究を深め、学校現場で生かすようにするとともに、複数年度にわたって研究を積み上げていきます。

4 参加者数（予定）

400 名

（感染対策のため、席間を広く取っていますので前回より参加者数を減らしています。）

5 大会会場及び期日・日程概要

第1日

【会場】ホテル東日本宇都宮 〒320-0013 栃木県宇都宮市上大曾町 492 番地 1

【期日・日程】

7月30日（土）	13:00～13:20	受付
	13:20～15:40	分科会（開会行事含）
	15:50～16:50	助言者ゼミナール

第2日

【会場】栃木県教育会館大ホール 〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1-6

【期日・日程】

7月31日（日）	8:30～9:00	受付
	9:00～9:45	全体会
	10:00～11:30	記念講演
		演 題 「世界一受けたい授業～おもしろ日本語～」
		講 師 金田一 秀穂 氏（杏林大学外国語学部教授）
	11:40～12:00	閉会行事

6 設置分科会及び助言者ゼミナール

学習指導A、学習指導B、道徳教育、健康教育、学校マネジメント、特別支援教育の6つの分科会が設置されます。

各分科会2提案を行います。ただし、学習指導Bに関しては、昨年、一昨年と提案発表ができなかったため今回、4提案となります。発表時間を短くするなど工夫し、他の5つの分科会とほぼ同様の時間で行います。

また、分科会の後には、助言者ゼミナールとして各助言者の先生が分科会のテーマに応じた内容の講話を行います。

(別紙2)

設置分科会 一覧表

分科会名及びテーマ		提案テーマ及び提案者	助言者
第1分科会	学習指導A 我が国と郷土の歴史や伝統・文化への理解を深める学習指導	広島県学校教職員連盟 原爆の惨禍から復興した広島の街を繋ぐ新しい平和教育の構築 広島市立春日野小学校 教諭 川本 通	麗澤大学大学院 客員教授 高橋 史朗
		徳島県教職員団体連合会 「人・もの・こと」との関わりの中で自ら学びをつなげ、共に高め合う子供の育成 那賀町立相生小学校 主幹教諭 喜多 将記	
第2分科会	学習指導B 学びの連続の中で確かな資質・能力を育む学習指導	東京都教育研究連盟 合意形成に向け、主体的に考えを広げ深め話し合う指導法の工夫～話し合いプログラム 統合編～ 西東京市立田無第三中学校 校長 東山 信彦	千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一
		宮崎県教育研究連合会 伝え合う力を高める指導の工夫 宮崎市立檉小学校 教諭 吉井 湧人	
		島根県教職員協議会 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～第5学年「速さ」の学習を通して～ 出雲市立長浜小学校 教諭 片寄 直寛	
		香川県教職員連盟 主体的に関わりよりよい生活を作り出す子を育てる家庭科教育 琴平町立象郷小学校 教諭 庄 倫世	
第3分科会	道徳教育 「特別の教科道徳」を要とする豊かな道徳性を育む心の教育	青森県教育協議会 問題解決的な授業モデルの実践～学びの質的転換を目指して～ 弘前市立相馬小学校 教諭 神 卓也	武庫川女子大学大学院 教授 押谷 由夫
		愛媛県教育研究協議会 豊かな道徳性を育む地域教材の開発 砥部町立麻生小学校 教諭 三好 敦子	
第4分科会	健康教育 「食育」「学校保健」「体育(保険領域)」を通じた生活習慣の改善を図る教育	山口県教職員団体連合会 食で育む心と体 ～コロナ禍における食育の実践～ 岩国市立東小学校 栄養教諭 山田 智子	東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子
		徳島県教職員団体連合会 よりより生活習慣づくりに取り組む児童の育成～メディアコントロールの指導を通して～ 石井町立高川原小学校 養護教諭 森 由后	
第5分科会	学校マネジメント 学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現	栃木県学校管理職員協議会 学校における働き方改革 宇都宮市国本中学校 副校長 瓦井 康司	千葉大学 名誉教授 天笠 茂
		栃木県教職員協議会 『次世代の学校』を実現するための共同体制の在り方 栃教協教研推進委員会 事務職員部	
第6分科会	特別支援教育 個に応じ、能力を伸ばす特別支援教育	栃木県教職員協議会 栃木県の特別支援学級における小・中を通じたキャリア教育の現状と課題～県内の事例を通して～ 栃教協教研推進委員会 特別支援教育部	桃山学院教育大学 前教授 石塚 謙二
		山口県教職員団体連合会 合理的配慮に基づく支援～不安を勇気に変えるために～ 田布施町立城南小学校 教諭 齋藤 俊二	